

2020年1月13日

あおぞら投信株式会社

## 「財政を 打ち出の小槌と 思い違い どの蛇口をば 締めて長生き」

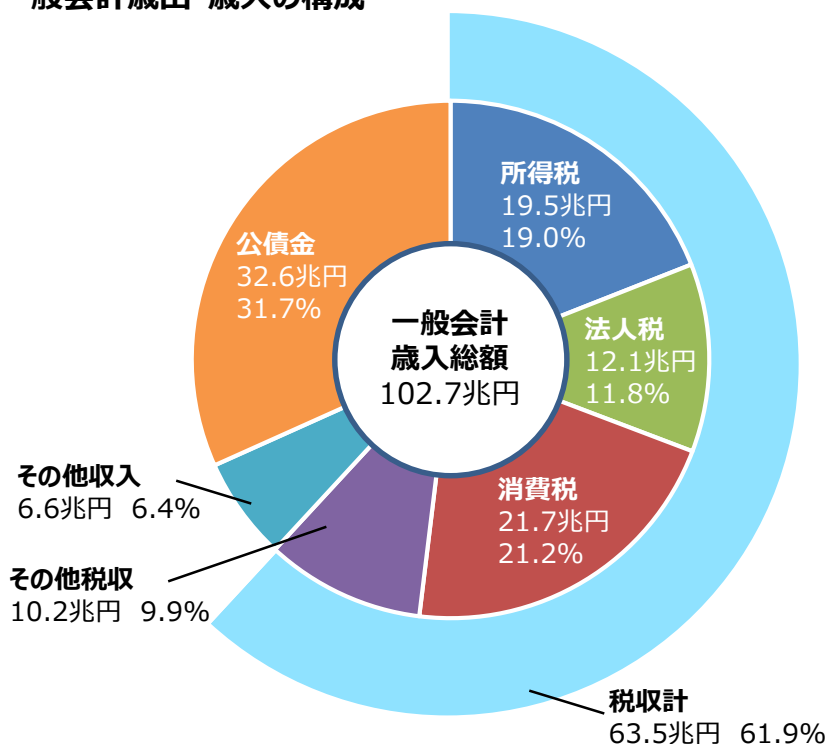
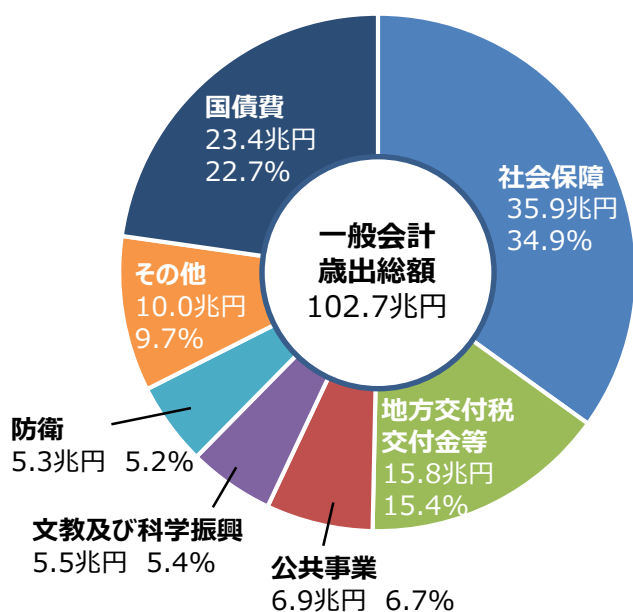
2020年度予算案では、102兆6580億円と8年連続で過去最高の歳出総額となりました。この令和初の予算案は何を目指しているのでしょうか。歳出の中でもっとも増えているのは社会保障関係費で、2019年度から1兆7495億円の増加となり、全体の34.9%となっています。今回の予算案では診療報酬改定の仕組みを変えて、薬価と診療報酬を別々に改定して、医療費にメリハリをつけようとしたことが見て取れます。公共事業費については、通常分に加えて臨時の措置として「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に盛り込まれたものが予算計上されています。昨年の災害からの復興と次に備えるための予算となります。

一方、歳入に関しては、税収が63兆5130億円と過去最大となり、消費税が史上初めて税収の中で最も多い税目となったのです。これまでの所得税からのトップ交代は、所得課税(直接税)から消費課税(間接税)へという国際的な流れに、ようやく日本の財政も追いついた形になります。その他収入では、外国為替資金特別会計(外為特会)での円売りドル買いで得たドル資金の米国債運用での収益などによる増加があります。

そして公債依存度(歳出総額に占める公債金収入の割合)は、2019年度の32.2%から31.7%へと低下していますが、基礎的財政収支(プライマリーバランス)は9兆2047億円と前年度より524億円悪化しており、財政の健全化は足踏み状態です。今後の財政改革において社会保障費の制度見直しは必須であり、個人の健康づくり推進から自己負担まで、世代間の不公平を解消し若者が将来に向けての絵を描けることがもっとも大切なことであると考えます。

柳谷俊郎

2020年度予算一般会計歳出・歳入の構成



出所：財務省のデータを基にあおぞら投信が作成。

※計数は四捨五入により算出しているため、端数において合計とは合致しないことがあります。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>